

私は日本共産党岡山市議団を代表して、甲第91号議案令和2年度岡山市一般会計補正予算（第7号）について以下21件に対する議案について、委員長報告に反対の立場で討論します。

＜社会保障・税番号制度システム整備費関連・マイナンバー制度拡充に関連する予算＞

●甲第91号議案 令和2年度岡山市一般会計補正予算 歳入第19款国庫支出金 第2項国庫補助金 第2目総務費国庫補助金中 社会保障・税番号制度システム整備費補助金1412万円余、第3項委託金 第2目総務費委託金中 同委託金1億9108万円、

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳入第3款委託金 第2目総務費委託金 社会保障・税番号制度事務費委託金3億793万円余、歳出第2款総務費 第1項総務管理費 第1目一般管理費中 社会保障・税番号制度関係事務費3億3239万円余、地方公共団体情報システム機構負担金784万円余は、マイナンバー制度につながるものです。

国民総背番号制ともいえるマイナンバー制度はプライバシーの侵害、個人情報保護の観点からも危険な制度だと導入時点から私たちは反対しています。今回の予算は、国が2年後にはマイナンバーカード取得100%をめざす方針を受けて、市としても交付センターの拡充など制度推進のための内容になっています。今でも個人情報の行政機関からの漏洩の事故があったり、なりすましなどの危険性もある中で、安全対策は万全ではありません。

そもそも菅政権はデジタル庁の新設を、規制改革断行の突破口とし国や自治体のデジタル化、マイナンバー制度、データの利活用を推し進め国が統括・監理・勧告する強大な権限を持つことを目的としています。またマイナンバーカードの発行を行う地方公共団体情報システム機構に対しても人事権を行使できるようにし、実質的に国が監督する組織に変えようとしています。そしてマイナンバーカード推進のため、マイナポータルを窓口にして国民の所得、医療、教育などあらゆる個人情報の連携をすすめ、個人を丸ごとスキャンする膨大なデータを集積しようとし、その利活用を成長戦略として位置づけ、ビッグデータを活用できる大企業をもうけさせようという動きです。

利活用は拡大される一方で個人情報保護のルール強化は不十分なままどんどん進められていく予算化は危険だと指摘し、反対します。

＜苫田ダムからの不要な受水に関連する予算＞

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳入第23款繰入金 第1項特別会計繰入金 第1目特別会計繰入金中 水道事業会計繰入金1869万円、第26款市債 第1項市

債 第4目衛生債中 岡山県広域水道企業団水源開発出資金充当2億220万円、歳出第4款衛生費 第15項上水道整備費 第1目上水道整備費中 岡山県広域水道企業団関係費2億2158万円、

●甲第15号議案 令和3年度岡山市水道事業会計予算 収益的支出第1款水道事業費用 第1項営業費用 第2目受水費23億9033万円余の苫田ダムの不要な受水に関わる予算と、

同じく収益的収入第1款水道事業収益 第2項営業外収益 第4目受託工事収益4407万円余、収益的支出第1款水道事業費用 第2項営業外費用 第3目受託工事費4300万円、第1款資本的支出 第1項建設改良費 第1目基幹施設整備費中9570万円余及び、

●甲第100号議案 令和2年度岡山市水道事業会計補正予算収益的収入および支出のうち瀬戸調整池にかかわるものは、広域水道事業団からの受水区域を拡大するための瀬戸調整池の受託工事費用についてです。

毎年不要な水に高い税金を注いでいるにもかかわらず今年1月には岡山市東区、中区、南区など広範囲な市民から水道水からカビ臭がすると多くの苦情が寄せられました。しかし広域水道企業団からの供給なので岡山市は調査もなにもできず企業団からの体に影響はないとの見解を市民に知らせるしかできませんでした。

市は2024年度瀬戸の大内浄水場を廃止し供給地域を広げるための工事を進めようとしています。当然事故があると影響範囲も広がることになります。

多額な税金を投入し市民の安心安全の水源を投げ捨て苫田ダムの受水をする必要はありません。よってこの予算は認められません。

<自衛官募集事務関係>

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳入第19款国庫支出金 第3項委託金 第2目総務費委託金中 自衛官募集事務費委託金13万円余及び関係歳出は、自衛官募集を市が行うことに関する予算です。

岡山市は外交・防衛は国の専管事項だとの姿勢を崩さないのに、自衛官募集事務を請け負うことは法定受託事務として毎年続けています。

そのうえ今回は、18歳と22歳になる市民の宛名シールを作成し自衛隊に提供することまで行います。個人情報をも市民の合意なしに勝手に提供するのは憲法違反であり個人情報保護の立場からも危険です。

自衛隊法施行令で市区町村に資料の提供を求めることが出来るとしていますが、これが名簿と判断するかは自治体が自ら判断することであり、義務ではないと防衛省も認めています。市も今議会で義務とは答えられませんでした。

国の機関から言われたからと言って1万4千人を超える大量のデータを流すことはどこで議論され決めたのか不明であり、まさに市長のトップダウンと言っても過言ではありません。

戦前、各自治体は兵士招集に協力し市の職員は赤紙を配りました。戦後もう二度と赤紙を配るような仕事はしないと公務員の皆さんは誓ったはずです。

市民のみなさんからは「広報紙やホームページのみのお知らせで独裁的にすすめる今の岡山市のやり方を恐怖さえ感じる」との声も私たちのところには届いています。

基本的人権と地方自治、平和を守るためにこの予算は認められません。

<家庭ごみ有料化に関わる予算>

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳入第18款使用料及び手数料 第2項手数料 第4目衛生手数料中 家庭系ごみ処理手数料9億7299万円余、歳出第4款衛生費 第5項清掃費 第1目清掃総務費中 家庭系ごみ有料化事業費3億6512万円余、同じく第2表債務負担行為中 家庭系指定ごみ袋作成経費1億1800万円は、家庭系ごみ有料化に関わる予算です。

家庭ごみ有料化が導入されて10年以上たちました。そもそごみ収集業務は地方自治体が税金で行う責務であり、市民負担を求める前に市としてやるべきことがたくさんあると、私たちは当初から反対をしてきました。しかし市は、ごみ減量へのインセンティブになると導入を強行しました。

平成21年導入1年目でごみ量は若干減ったもののあとはずっと横ばいです。当時私たちが提案した分別の徹底、不法投棄の抑制、拡大生産者責任を問うという内容もここ20年あまり進んでいません。

焼却中心のごみ行政を改め、プラごみ回収も含めて地球温暖化や環境問題に市が本気で取り組むのなら、手数料を取らなくても行うべきです。

またコロナ禍で家計が大変な中、フードシェア会などで喜ばれるのがごみ袋だと伺っています。それだけ市民にとっては大きな負担です。生活するうえでだれもが必要なものを有料化すべきではありません。

税金の二重取りのようなことはせず、しっかり税金で分別徹底、市民意識の啓発など政策を位置づけてごみ減量にあたるべきと申しあげて、反対とします。

<北斎場と瀬戸内市斎場について>

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳入第26款市債 第1項市債 第4目衛生債中 斎場整備事業費充当24億1330万円のうち北斎場22億4710万円、および瀬戸内市斎場1億6620万円、歳出第4款衛生費 第1項保健衛生費 第30目火葬場費中 斎場施設関連整備事業費26億9300万円うち北斎場関係25億769万円余、瀬戸内市新火葬場整備事業負担金1億8475万円は、北区富吉の新斎場と瀬戸内の新斎場に関わる予算です。

北区の新斎場は、何度も申し上げていますが用地決定の時に住民を二分するような市の進め方、地域には補助金を配分するやりかたなど当該地域の反対する方々の強い批判が残ったまま進められています。さらに産廃跡地ゆえに安全性への住民の危惧がまだまだ残っており現在の検査データの取り方にも心配の声が出ています。このまま強引にすすめていくのは認められません。

次に瀬戸内市の新火葬場についてです。火葬数のピークを迎える2040年に28炉が必要になるとの説明を市は繰り返してきましたが、現在東山では20炉が14炉に減っていますが、今までと同じ年間8000体を火葬できており、混乱はないと聞いています。

平成24年の資料には24炉と明記されていたのに、その後、一日の想定回数を2回にして必要炉数を28炉に大きく見積もったとしか考えられません。不必要な炉数のために多額の税金を使うより、瀬戸内市の斎場を利用された市民に対してその都度補助を行うほうが現実的な税金の使い方です。

<岡山駅前路面電車乗り入れ関連>

●甲第2号議案 岡山市令和3年度一般会計予算 歳出第8款土木費 第20項都市計画費 第1目都市計画総務費中 都市交通戦略推進事業費のうち11億4650万円は、岡山駅前に路面電車を乗り入れるための関連予算です。

路面電車の岡山駅乗り入れは、回遊性の向上のために進められていますが、全市民的な税金の使い方で考えると、まず交通不便地域に住んでいる20万人に対しての政策を実現するほうが優先順位とすれば先だと思います。

ましてコロナ禍で多大な減収がみこまれる中、まずは市民のいのちや暮らしにかかわる予算を確保するほうが重要で、総額40億円以上もする事業を進めることは理解できません。

<市立園廃止民営化関連>

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳入第26款市債 第1項市債 第3目民生債中 保育園・幼稚園一体型施設整備事業費充当8億7150万円のうち認定こども園になる鹿田、庄内、浦安・芳泉分と大元、豊、西大寺南幼稚園廃止民営化分920万円、歳出第3款民生費 第10項児童福祉費 第16目認定こども園費のうち認定こども園整備費の中で鹿田、庄内、浦安・芳泉こども園に関わる予算についてです。

これは公立幼稚園の廃止民営化、幼保連携型認定こども園化となる予算です。

今年の岡山市の保育園の一次募集では未入園児が1247人でした。この方々は認可保育園を希望している方たちです。そういう現状がありながら市は36か所のみ公立のこども園として残し、他の幼稚園保育園を廃止民営化する方向でどんどん進めています。

今議会にはコロナ禍において集まりにくいときに説明会を一時ストップしてほしいと保護者から陳情が出ています。にもかかわらず、一部役員だけに説明をしたり、地元の協議会が了承したから当該地域の住民や町内会には説明もせず、市民の大切な財産を手放すことを進めています。

地域で子どもを育てたい、安心安全の認可保育園に預けたいなど保護者の気持ちに逆行する動きに強く抗議します。

また、

●甲５５号 岡山市立学校条例の一部改正も、古都幼稚園と浮田幼稚園の廃止民営化に伴う条例改正なので同じ理由で反対します。

●甲５２号及び甲５３号の岡山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例については、３歳で入園できない子を増やす規制緩和であり、待機児童対策に逆行するとして、反対とします。

<山南義務教育学校関連>

●甲第２号議案 令和３年度岡山市一般会計予算 歳入第２６款市債 第１項市債 第１０目教育債中 小学校債義務教育施設整備事業費充当のうち１１億９７４０万円、歳出第１０款教育費 第１目教育総務費 第５項小学校費の学校建設費中 山南義務教育学校に関わる予算１３億３８００万円、

●甲第９１号議案 令和２年度岡山市一般会計補正予算 歳入第２６款市債第１項市債 第１０目教育債中 小学校債のうち義務教育施設整備事業費充当中義務教育学校に関わるもの、及び歳出第１０款教育費 第１項教育総務費 第５目小学校費中 工事請負費８１５万円は、東区の山南中学校と４つの小学校を統廃合し義務教育学校にする予算です。

小中一貫校は２つの学校組織ですが、義務教育学校は一つの学校組織になるとのことなので結果、教職員の削減につながります。

市教委として教育内容の検討や判断基準があいまいなまま地元の要望に応える感じで急速に進められました。もちろん地元の方や子どもたちにとってより良い学校になることは望んでいます。

しかし、市教委として小中一貫校に対する方針があいまいなまま山南義務教育学校開設１年以上たって検証するという方向性は、子どもを実験台にしているような気がします。

しっかりと予算をつけて、今より教育環境も体制も質も落とすことのないよう要望し、反対とします。

<学校給食、校納金関連>

●甲第91号議案 令和2年度岡山市一般会計予算 歳出第10款教育費 第30項保健体育費 第15目学校給食費中 学校教育施設等整備基金運営費3469万円、

●甲第2号議案 令和3年度岡山市一般会計予算 歳出第10款教育費 第30目保健体育費 第15目学校給食費中 学校教育施設等整備基金運営費1211万円余、給食委託料10億6280万円余、学校給食センター建設費2億9410万円は、学校給食調理業務民間委託に関わるものと、学校給食センターの建て替えに伴い自校方式の学校給食をセンターに集約し、大規模センター建設に関わる予算、及び教育費中校納金に関わる予算です。

まず調理業務の民間委託についてです。

官民切磋琢磨して子どもたちにより良い学校給食をと、調理業務民間委託を導入して生徒数の6割の学校給食の調理業務が委託されています。すでに当初の目標を達成しています。

より良い給食どころか、民間の業者が調理員を確保することが出来ず急に撤退を表明し、安全で安定的な給食調理業務が維持できず、子どもたちに影響がでました。

子どもたちによりよい給食をというのなら直営で責任をもち、自校方式で、できたての学校給食を提供すべきです。一貫した私たちの指摘を無視して新年度予算でも、民営化で浮いたお金をその学校の施設整備に回すという基金の積み立ても含まれています。よって認められません。

次に大規模給食センターに関わる予算です。

赤田の学校給食センターの老朽化建て替えに伴い、今までの2500食のセンターをすべての中学校の学校給食をセンター化する方針を、保護者に十分な説明もないまま7000食の大規模のセンターを建設するとの予算も盛り込まれました。

その上、先日の委員会に小学校の調理場改修のためや緊急時のため、規模を7500食にするということが突如示されました。学校給食運営検討委員会などにもその話は示されていません。本当に必要な広さの土地を購入するのではなく、今回は8600㎡の広大な土地購入ありきで7500食規模の計画に練り直した感が否めません。

教育委員会とは、なによりもどこよりも子どもファーストで予算や政策を考える組織のはずが、学校給食民間委託は効率化ありきの議論が主導で残念でなりません。

次に校納金についてです。教育費の中に学校校納金の同意書提出に関わる予算も含まれています。保護者に納金の圧力をかけるような同意書提出はすぐにやめるべきと、合わせて反対します。

<介護保険関係>

次に介護保険関係についてです。

まず保険料の値上げに関わる部分です。

●甲第10号議案 令和3年度岡山市介護保険費特別会計予算、

●甲第32号議案 岡山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、の2つの議案は介護保険料の値上げに伴うものです。

値上げ幅は当初より抑えられたものの、制度導入時の2倍以上の保険料です。コロナ禍で大変な生活を強いられている高齢者が増えています。現時点で基金は33.5億円あります。取り崩しなどを行い、引き下げるべきではなかったかと指摘して反対します。

次に基準の緩和等に関する部分です。

●甲第29号議案、甲第40号議案、甲第41号議案、甲第42号議案、甲第43号議案、甲第44号議案、甲第45号議案、甲第46号議案、甲第47号議案、甲第48号議案についてです。

これらはどれも介護保険法の改定に伴い、施設基準ワンユニット10人を15人に、認知症のユニット数1施設2ユニットから3ユニットへ、及び有資格者やケアプランなどの基準が緩和される中身です。

高齢になってもその人らしい暮らしを保障するために、多くの施設に個室ユニット型が導入されています。今まで定員はおおむね10人以下となっていました、15人を超えないものとされました。

そして認知症施設が、今までの2ユニットを3ユニットに増やすことができるようになります。今まで1ユニットを一人で夜勤勤務者が見ていましたが、3ユニットの場合夜勤2人に緩和されます。

つまり見守り機器などITを利用すると現場が人を減らしてもいいとする人員基準が下げられる中身です。ITが高齢者の顔色を見て気持ちに寄り添えるのか、ベッドから落ちたら助けに行けるのか、と現場では怒りの声がおこっています。

また、長期リハビリの切り捨てや、生活援助の訪問回数の多いケアプランは点検、検証される仕組みも変更され、高齢者が必要なサービスを受けられない事態に追い込まれる可能性もあります。

現場に負担を強いて、対応力のみを強制して乗り切らせようとするこの一連の改定を認められません。

介護保険制度導入から20年制度は疲弊しています。社会保障の概念を取り戻し、公費負担を増やすことを求めて反対します。

次に、

●甲第21号岡山市職員厚友会条例の一部を改正する条例の制定については、厚友会の構

成員を岡山市町村職員共済組合の組合員であるものと改正するものです。

これによって非正規職員の中で会員になれない方がでてきます。1年ごとの契約職員の方も、結果的に連続で勤務されています。保育現場など多くのそういう方に支えられています。ほかに救済制度もあるとのことですが、雇用主が福利厚生を規制するのでなく、せめて入りたい人は入れる仕組みにすべきです。

最後に、

●甲第58号議案 岡山市公園条例の一部を改正する条例の制定について です。

これは、2017年の都市公園法の一部改正に伴い、保育所やその他の社会福祉施設に都市公園を占用つまり独占的に使えるようにする場合の使用料等を定めるものです。

そもそも法改定の趣旨は、都会で待機児童対策に保育園建設のために公園占用をとの切羽詰まった現況を受けてのものでした。

岡山市では当時国の動きになんら反応もせず、この期事業者から下石井公園占用の申請を受けての条例改正です。

市内どの公園でもいいのか、占用したいと言えばルールなく許可するのであれば、手を挙げたもの勝ちになるのではないか。

昨年、占用申請があったにもかかわらず議会には何も報告なく、勝手に申請許可を今年の1月に出し、議会や市民に報告をしたのは2月。しかもその施設がステージをいらないと判断し、撤去することも議会や市民に事後報告でした。

他自治体では許可の条例改正の後に、申請を受け付けています。申請を許可した後条例を改正するのは、順番が違います。「市が公平性も主体性も投げ捨てて、何でもありの方向に行っている気がする」との市民の声も届いています。

市民の大切な財産を、一方的に欲しいと言われればどうぞとなるこの法改正に対し、市がせめて公募制にするなど、公平性と透明性のあるルールをつくるべきです。

以上反対理由を述べさせていただきましたが、議員の皆様のご賛同を求めて終わります。